

研究情報公開

受付番号	23-25
研究課題名	高齢の大腿骨近位部骨折患者における入院時 MNA-SF は FIM に影響する
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション療法部 理学療法士 友寄理乃
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>回復期リハビリテーション病棟への入院時に低栄養を呈した高齢の大腿骨近位部骨折患者の ADL や栄養状態に及ぼす影響を明らかにすることを目的とします。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方 当院に入院した大腿骨近位部骨折後の患者様</p> <p>●利用するカルテ情報 傷病名、既往歴、入院日、退院日、発症日、性別、年齢、股関節骨折の病型（頸部、転子部）、手術法（人工骨頭置換術、骨接合術）、入院時アルブミン値、入退院時身長、入退院時体重、入退院時 BMI、入退院時 MNA、入退院時 SMI、入退院時 FIM、FIM 利得（退院時 FIM・入院時 FIM）、その他、研究を行うにあたり必要なデータの収集を行います。</p> <p>●カルテ情報の利用方法 上記の項目は電子カルテを含む記録簿より全て抽出します。入院期間に記録されたデータのみを使用し、患者様に新たな侵襲は加えません。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～2028.6